

## 新製品紹介

# エネルギー管理パッケージ

## Enemap™

Energy Management package software

エネルギーを賢く使うナビゲーションシステム

近年、地球温暖化対策のための省エネルギー、環境負荷低減への要求はますます厳しくなっています。日本は2005年2月に発効された京都議定書において、2008年～2012年の間に1990年比6%のCO<sub>2</sub>排出量削減を約束しており、この目標達成に向け、産業のあらゆる分野において徹底した省エネルギーとCO<sub>2</sub>排出量削減が求められています。

当社では、こうした背景に合わせて、エネルギー利用の全体最適を目指したエネルギー管理パッケージEnemapを開発し、エネルギーを大量に消費する工場の原動力設備や地域冷暖房システムなどへ納入を開始しています。Enemapは運転実績データと気象予報データなどを基にエネルギー需要を予測し、電力、都市ガス、重油などのエネルギーを最も有効に使う組み合わせ(ベストミックス)と設備の最適運転方法を導き出します。

### [主な特長]

#### 需要負荷予測

プラント情報管理システムExaquantumに蓄積した過去の実績値、操業情報、気象予報値を基に翌日の電力、熱需要量などを予測する機能です。気象予報値に関しては、インターネットの有料配信サービスから48時間先までのデータを定期的(例えば3時間毎)に自動受信して更新することが可能です。また、前日に立てる長期予測(48時間)に加え、当日の補正予測機能を持ち予測精度を高めています。

#### 最適運転計画

需要負荷を満足しかつ運転コスト、あるいはCO<sub>2</sub>排出量が最小となる最適運転計画を導出して、プラント運転の支援または自動制御を行います。時刻毎に決定された運転台数はガントチャート形式で運転計画表として画面表現され、当日補正された予測負荷に基づき運転計画の修正も実行されます。運転の最適性評価は、単位当たりのエネルギーを製造するために必要とした燃料費やその運転で排出されたCO<sub>2</sub>量を指標としてグラフ表現されます。過去の運転実績データを任意に与え、運転評価シミュレーションすることも可能です。

#### 設備傾向分析

本機能は設備の状態診断を目的に提供されており、Exaquantumに蓄積された長期間の運転実績データを使って設備能力の経年劣化など状態の傾向を分析することができます。年間ベースのトレンドや複数年トレンドの重ね合わせ、散布図表現への理想曲線描画と領域判定、ヒストグラム表現と多彩な画面表現手段に加え充実したフィルタリング機能により、観察したいデータの抽出までを分析能力として提供しています。

#### 管理帳票

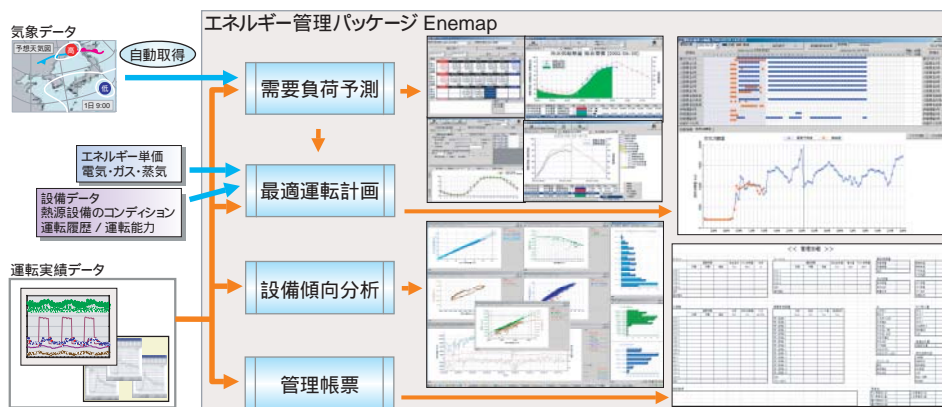
運転の実績(結果)を帳票として編集し管理する機能です。Microsoft社製Excelを採用した自由度の高い帳票機能に仕上がっています。毎日の運転実績を生値で記録する運転日報、管理項目毎にデータを編集した管理日報/月報を標準で用意し、シフト報、季報、年報への積み上げも作成し易い構造になっています。設備単体効率の演算式などはデフォルトで持ち、収集データを紐付けするだけで帳票作成できます。

問い合わせ先：ソリューション事業部エンジニアリング本部

TEL：0422-52-9576

E-mail：energy-pkg@cs.jp.yokogawa.com

URL：http://www.yokogawa.co.jp/si/enemap



エネルギー管理パッケージ Enemap の機能

\* Enemap, Exaquantumは、横河電機 株 の登録商標です。Microsoft, Excelは、米国Microsoft社の登録商標です。